

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

924

ごみ減量推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	1	ごみ減量の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		清掃総務費	
	大事業		清掃総務事業	
	中事業		ごみ減量推進事業	

事業種別	継続	関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	一般廃棄物課 山下 幸宏 435-1352
事業実施の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	<p>公衆衛生の向上のみならず、循環型社会の形成を目指し、ごみ減量を推進するための企画及び支援を行う。</p>		<p>和歌山市廃棄物減量審議会の開催、集団回収奨励金制度による資源集団回収の活性化、幼稚園児・小学生・婦人会等への出前講座・説明会の実施、様々な広報媒体（リクル通信、リクルネット）を通じて市民へのごみ減量啓発活動、ごみ減量推進員制度の実施等の事業によりごみ減量を推進する。</p>		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	<p>・資源集団回収奨励金制度の継続@・小学校、幼稚園への環境教育出前講座の実施@・リクル通信年3回の発行@・HPリクルネットの充実@・ごみ減量推進員制度の実施@・事業系・家庭系廃棄物に係る意見聴取会の実施@・一般廃棄物処理基本計画策定支援事業の実施@</p>	<p>・「ごみ減量アクションプラン（後期版）」策定@・資源集団回収奨励金制度の継続@・小学校、幼稚園への環境教育出前講座の実施@・リクル通信年4回の発行@・HPリクルネットの充実@・ごみ減量推進員制度の実施@・事業系・家庭系廃棄物に係る意見聴取会の実施@</p>	<p>・資源集団回収奨励金制度の継続@・小学校、幼稚園への環境教育出前講座の実施@・リクル通信年3回の発行@・HPリクルネットの充実@・ごみ減量推進員制度の実施@・事業系・家庭系廃棄物に係る意見聴取会の実施@・リクルレシビの提案@</p>	<p>ごみ減量のための啓発・広報及び支援・補助</p>	<p>ごみ減量のための啓発・広報及び支援・補助</p>

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	25,046	18,450	19,067	13,065	22,267	14,758	14,827	0	14,827	0
伸び率(%)	△20%	6.7%	△23.9%	△29.2%	16.8%	13%	△33.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	59,690	60,882	58,784	56,152	55,545	22,218	20,300	0	20,300
	正規職員以外	2,090	2,112	4,223	4,359	4,511	3,537	3,775	0	3,775
	小計	61,780	62,994	63,007	60,511	60,056	25,755	24,075	0	24,075
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	25,046	18,450	19,067	13,065	22,267	14,758	14,827	0	14,827	0
所要人数(人)	正規職員	7.51	7.66	7.37	7.04	6.95	2.78	2.54	0.00	2.54
	正規職員以外	0.95	0.96	1.86	1.92	1.90	1.81	1.91	0.00	1.91
主な予算内訳	消耗品費3,380千円、印刷製本費7,946千円、集団回収奨励金5,000千円 他									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
出前講座回数		回	目標値	100	100	120	120	100
			実績値	119	115	107		
			達成度(%)	119%	115%	85%	0%	
リクル通信発行回数		回	目標値	3	4	4	3	3
			実績値	3	4	3		
			達成度(%)	100%	100%	75%	0%	
総発生ごみ量(一般廃棄物)(平成28年度見直し)		トン	目標値	139924.58	130327.82	125821.70	121315.08	116775.25
			実績値	131227	127450	127233		
			達成度(%)	106.6%	97.8%	86.3%	0%	
			目標値	516.34	553.65	643.11	705.66	715.58
集団回収量(平成28年度見直し)		トン	実績値	528.57	535.38	477.553		
			達成度(%)	97.7%	103.4%	63.4%	0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>一般廃棄物処理基本計画において3Rを推進し、H32年度までに1人1日あたりのごみ排出量（資源を除く）を10年間で約30%削減することを目標としてきた。年々ごみの排出量が減少し、効果が表れているところである。さらにごみ減量を加速させるためには、市民に対して、新たな3Rを推進する取り組みを、行う必要がある。</p> <p>家庭系ごみに含まれる食べ残しや手つかず食品等の削減に積極的に取り組む。</p> <p>食べきり、水きり、使いきり、の3きり運動を推進し、生ごみと食品ロスを削減する。</p>
見直し・改善内容	<p>出前講座は、今までの「連れもて分別ごみ減量～美しい海・山・川の城下町和歌山」、「楽しい紙芝居でわかる！ごみの出し方・減らし方」に加え、H30年度から「食ロス削減でごみ減量」という新メニューを増やしその充実を図っている。</p> <p>食材の過剰除去や、食べ残しを防ぐ、リリクルレシポの提案を行い、食品ロスの削減に取り組む。</p> <p>リリクル通信の発行は年3回以上行い、リリクルネットでも配信する。</p> <p>資源集団回収の事業内容を一部見直し、より回収団体や回収業者に配慮したものとして、その充実を図る。</p>